

いきいき 元気に活動中



日本郵政グループ労組
退職者の会
会長 山本 十三

郵政民営化を受け、全通・全郵政の両労組が組織統合し、2007年10月に「JP労組」が誕生しました。

それ以降、退職者組合にあっても、統一の話し合いが続けられ、ようやく昨年のJP労組第6回定期全国大会で新たな退職者組織に移行することが組織決定されました。

中央・地方・各地区連協、支部（県下6支部）それぞれに設立準備委員会を立ち上げ、設立総会を経て、滋賀においても「郵政退職者会滋賀通友会」「郵政ユニオンクラブ滋賀」が『日本郵政グループ

労働組合滋賀連協退職者の会』（会員400名）として新しい第一歩を踏み出しました。

8月4日の連合滋賀高退協第2回幹事会に組織改編の報告を行い承認されました。

JP労組退職者の会は、「心をひとつに」融和と信頼、会員拡大が重要な課題です。また、連合高退協の一員として年金・医療をはじめとする社会保障制度の充実を求めるとともに、戦争のない平和で豊かな日本をめざして頑張ります。一層のご鞭撻とご指導をよろしくお願ひします。

コラム

鉄道退職者の会

那須 善行



8月6日広島原爆から69年のこの日私たちの幹事会において、連合・原水禁・KAKKINなど3団体による「核兵器廃絶」を求める1000万署名に取り組むことを決議しました。退職者連合だけでも150万署名を目標としています。

各自が心をこめて、一筆一筆署名することによってより大きな声となります。過日の知事選も安倍内閣の回帰路線の流れにマッタをかける決意で私たち高齢者としても懸命に取り組みました。だから全国の同志に勇気を与えたと思うのです。

今回の署名運動は、核兵器を「造らない」「持たない」「持ち込まない」3原則を守るとともに、唯一の被爆国として日本国と国連に届けるために行うものです。さらに言えば、安倍内閣は「原発」の再稼働、原

発技術の輸出など、福島原発事故の反省もなく突き進んでいますが、これが私たちの命とくらしを脅かし核兵器へと進むことは、歴史が証明しているともいえます。道のりは遠くともこの一步から現政権が進めている戦前への回帰的施策をストップする活動を進めようと切に願っています。

戦争は、「今」すぐではなく「明日」からでもない、アノ首相の一言一句からジワジワとやってくる。気がつけばこの命をアノ総理に預ける状況になってくることを何よりも恐れるのです。

私たちは、「子」や「孫」を戦場へは送らないことを、戦争を経験した世代としての責任として活動しようではありませんか。

リリッシュ滋賀

第44号 2014.11.
発行所:連合滋賀 高退協
発行責任者:吉川 浩次
編集責任者:山崎 長榮
大津市松本2-10-6
TEL 077-523-0500
FAX 077-523-5600

「2014滋賀県高齢者集会」を開催

「集団的自衛権」をめぐる問題点について学習

2014年10月11日（土）滋賀ビルにおいて、各組織から88名が参加し、「2014滋賀県高齢者集会」を開催しました。

今回は、「集団的自衛権の行使について」をテーマに、民主党滋賀県第4区総支部長の徳永久志氏を講師に迎えて講演をいただきました。

徳永氏からは、「個別的自衛権」、「集団的自衛権」に関する整理を踏まえ、国の安全保障について詳しく説明をいただきました。

「本年7月1日に、他国への攻撃に自衛隊が反撃する集団的自衛権の行使を認めるために、憲法解釈を変える閣議決定がされ、この閣議決定は、海外での武力行使を禁じた憲法9条の趣旨の根幹を読み替える解釈改憲であること。」

「政府は1954年の自衛隊発足以来、自国を守る個別的自衛権の武力行使に限って認めてきたが、閣議決定された政府見解では、日本が武力を使う条件となること。」



「新3要件を満たせば、個別的、集団的自衛権と集団安全保障の3種類の武力行使が憲法上可能とすること。」など、新3要件のベースとされている1972年の政府見解の結論は、「集団的自衛権の行使は憲法上許されない」というものであり、これまでの政府の見解を転換するものであると説明がありました。

集会最後では、国民に対する十分な説明なしに時の政権が便宜的、意図的に本質的な解釈変更を行うことは立憲主義に反し認められないことを確認し團結ガンバロウで終えました。

講演のあとに行った懇親会では、それぞれの組織相互でぎやかに交流を深めることができました。



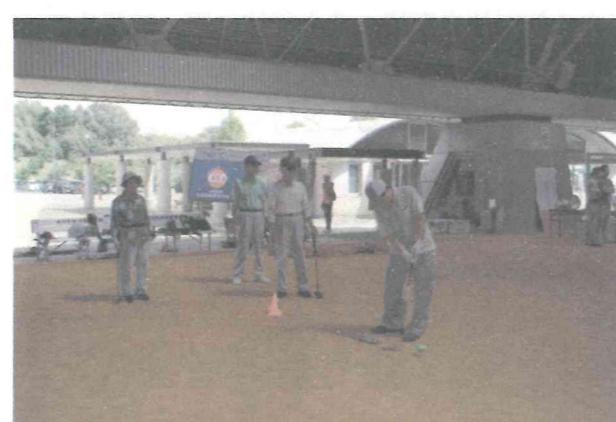
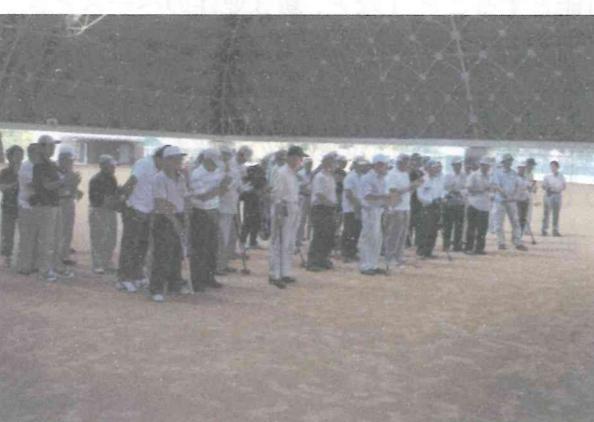
ホールインワン続出！！ 第7回グラウンドゴルフ大会を開催！



【主催者挨拶をされる吉川会長】

連合滋賀高退協第7回グラウンドゴルフ大会（後援：連合滋賀、労福協、近畿労働金庫、全労済、住宅生協）を9月3日(水)に竜王町総合運動公園・ドラゴンハットにて開催しました。

グラウンドゴルフ大会は今年で7回目の開催となり高退協の組織間・会員間の交流を深める恒例行事となっています。7度目の今年は清々しい青空の元、熱い戦いが繰り広げられ、参加者の皆さんには昨年を上回る好成績をたたき出しました。



【グラウンドゴルフ プレー風景】

【連合滋賀高退協第7回グラウンドゴルフ大会結果】

【男子の部】得点が同数の場合は、①ホールインワンの数、②2打の数が多い順に上位となる

順位	氏名	合計	ホールインワン数	得点	所属名
1	山口 憲昭	80	2	74	J AM滋賀シニアクラブ
2	森川 保	79	1	76	ダイハツ皐月会
3	増田 忠士	81	1	78	ダイハツ皐月会
4	藤田 徳重	85	2	79	NTT労組退職者の会
5	長谷川宗男	82	1	79	滋賀県退職教職員協議会

【女子の部】

順位	氏名	合計	ホールインワン数	得点	所属名
1	酒井 弘子	83	1	80	ダイハツ皐月会
2	山際 朱實	93	3	84	UAゼンセンシニア友の会
3	倉田 明美	89	1	86	NTT労組退職者の会
4	山田イツ子	93	2	87	UAゼンセンシニア友の会
5	三輪まさ江	90	1	87	全印刷局労働組合退職者の会

*ホールインワン賞33名（男性24名、女性9名）

京都の秋を楽しもう 京都宝ヶ池ハイキング

連合近畿ブロック高齢・退職者連絡会が持ち回りで開催している秋のハイキングを、今年は10月29日(水)に京都市において、前年を上回る総勢1,440名（内80歳以上184名）で開催されました。

毎年のこのハイキングは、高齢・退職者の健康維持、増進と近畿の仲間との交

流を深めることを目的として開催されており、連合滋賀からも85名（内80歳以上9名）が参加しました。

当日は、秋晴れに恵まれ、汗ばむ陽気のもと、京都宝ヶ池公園をスタートし、国際会館庭園や菖蒲池などを散策し、健脚の方は、京都府立植物園まで歩きました。

安全かつ軽快に楽しむことができ、また、互いの交流も深め合うことができた楽しい一日となりました。

来年は、和歌山県です。また、一緒に心地よい汗を流しましょう。

